・ツールの優位性

　１　特定のURLから到達できるURLの一覧と、パラメータなどを取得できる。

　２　ドメインを指定することによって取得したいURLを限定できる

・機能説明

　URLと対象のドメインを入力することによって、入力されたURLから到達できる対象のドメインを含んだページのURLとパラメータを取得し表示される。

・苦労した点

　１エントリーが遅く５日間で作りましたが、なんとか形にはできました。

　２GUIに「flet」というライブラリを使いました。最新のライブラリ過ぎて、参考資料が少しの日本語の解説か海外のgithubか公式ドキュメントしかなくとても苦労しました。